

## (8) 札幌市自治基本条例に関するアンケート調査結果

### 1. アンケート実施概要

札幌市では、「市民が主役のまちづくり」を目指して、平成19年4月1日に「自治基本条例」を施行し、この条例のもと、分かりやすい情報の提供や市政への市民参加に努めている。

本アンケートは、今年度、自治基本条例施行後5年目を迎えることを契機に、条例の認知度や市民自治の取組について、市民の方がどのように認識しているかを把握するため、実施したものの。

#### (1) アンケート調査方法

ア 無作為抽出した18歳～79歳の市民3,000人に郵送

市民による集中評価会議開催案内にアンケート調査票を同封。

イ 区役所等への配架

以下の施設等へ配架するとともに、実施に際して報道機関へ情報提供。

(ア) 区役所（10区）

(イ) 区民センター（10区）

(ウ) まちづくりセンター（87か所）

(エ) 主要地下鉄駅

JRやバスなどで近隣市町村からの通学・通勤者の往来が見込める駅（大通駅（7か所）、さっぽろ駅（5か所）、麻生（2か所）、北24条（1か所）、宮の沢（1か所）、新さっぽろ（2か所）、栄町（1か所）、福住（2か所））に配架。

#### (2) 実施期間

平成23年12月13日（火）～平成24年1月13日（金）

ただし、無作為抽出した市民3,000人は、集中評価会議の参加承諾書提出期限（12月22日（金））をアンケート調査の締切とした。

#### (3) 回収数

635通（郵送609通、ほか26通）

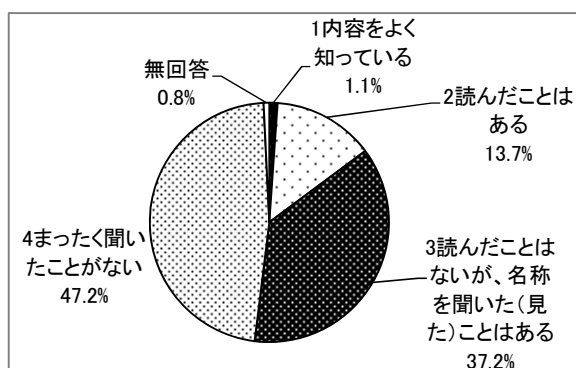
## 2. アンケートの質問項目と結果

問1-1「札幌市自治基本条例」を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

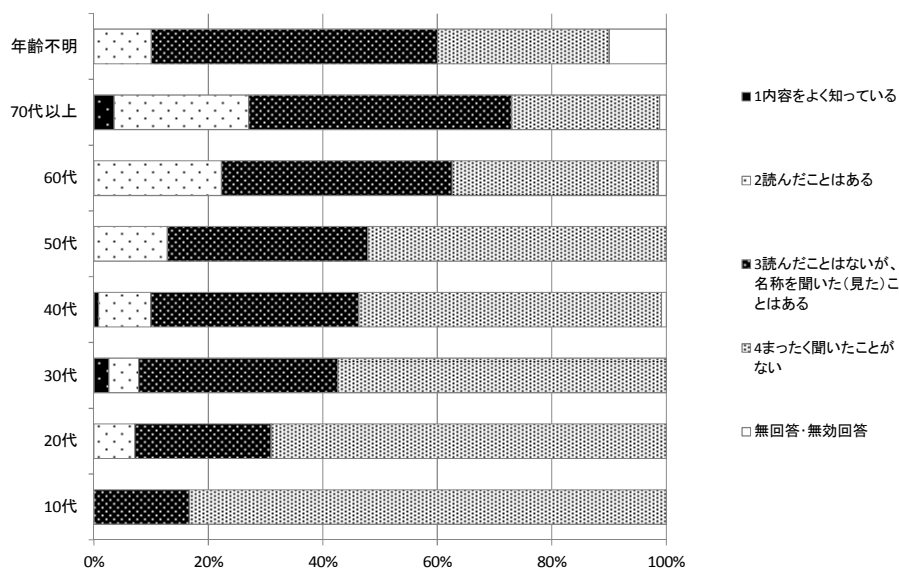
「3 読んだことはないが名称を聞いたことはある」は37.2%、「4 まったく聞いたことがない」では47.2%となり、名称のみ知っている、あるいはまったく知らないという回答が約8割を占めており、条例の認知度は低いものと考えられる。

また、年代別の統計をみると、年代が上がっていくにつれて、認知度が高くなっていく傾向が見られる。

	人数
1内容をよく知っている	7
2読んだことはある	87
3読んだことはないが、名称を聞いた(見た)ことはある	236
4まったく聞いたことがない	300
無回答	5
合計	635



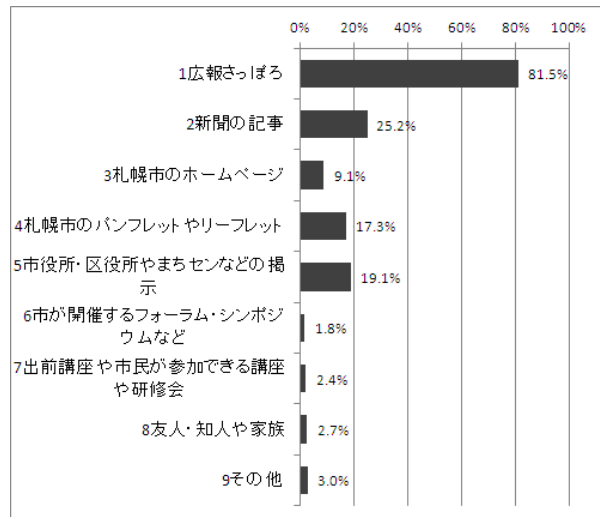
年代別クロス集計



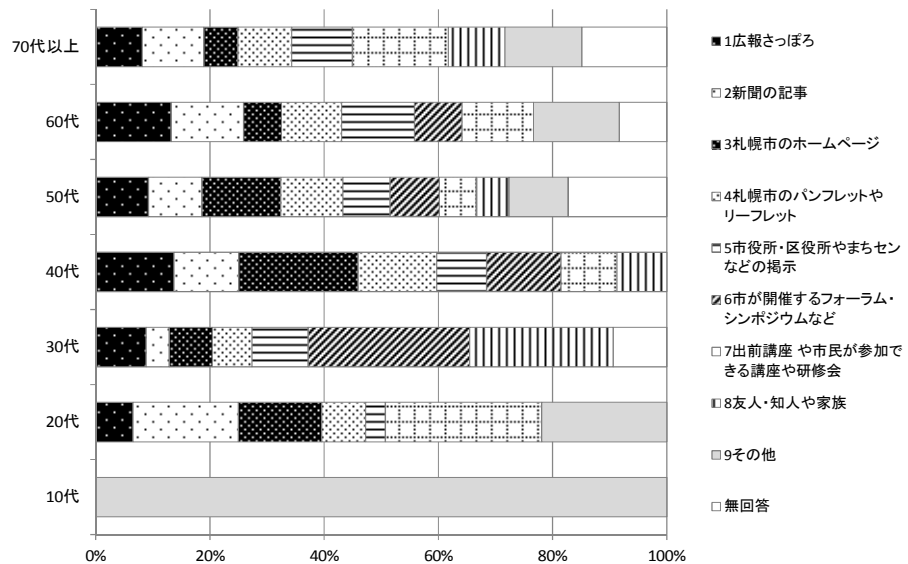
問1-2「札幌市自治基本条例」を何から知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（※問1-1で1~3のいずれかを回答した方にお尋ねします。）

回答者数 330 名のうち「1 広報さっぽろ」との回答が 269 名、約 8 割と最も多く、すべての年代で回答数が多かった。（10代は回答者数が少ないため、参考数値。）

	回答数
1 広報さっぽろ	269
2 新聞の記事	83
3 札幌市のホームページ	30
4 札幌市のパンフレットやリーフレット	57
5 市役所・区役所やまちづくりセンターなどの掲示	63
6 札幌市(区役所)が開催しているフォーラム・シンポジウムなど	6
7 出前講座 や市民が参加できる講座や研修会	8
8 友人・知人や家族	9
9 その他	10
無回答	6
回答者数	330



年代別クロス集計

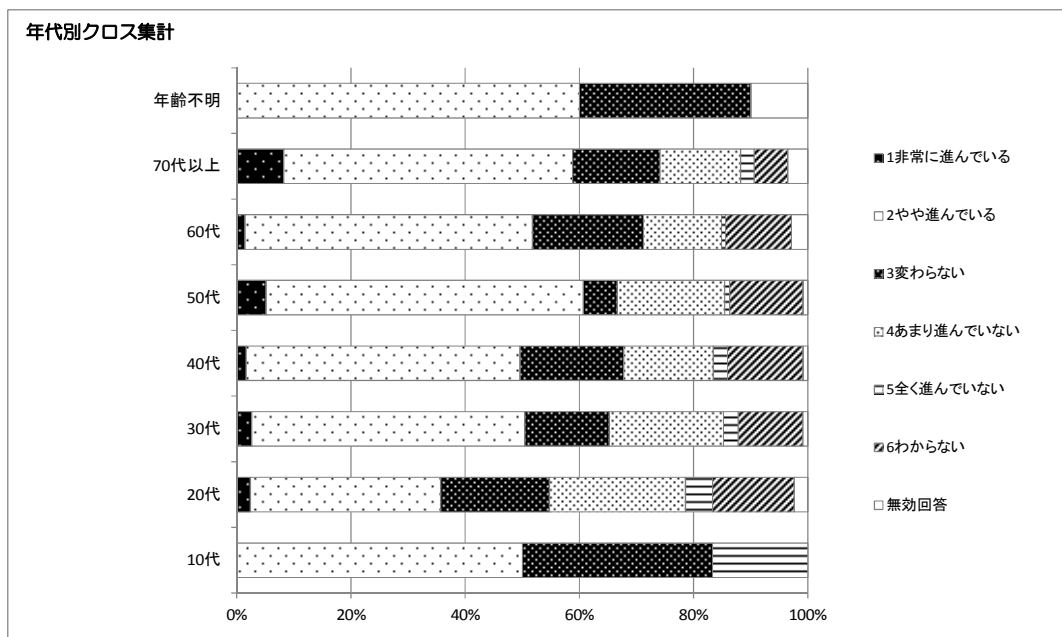
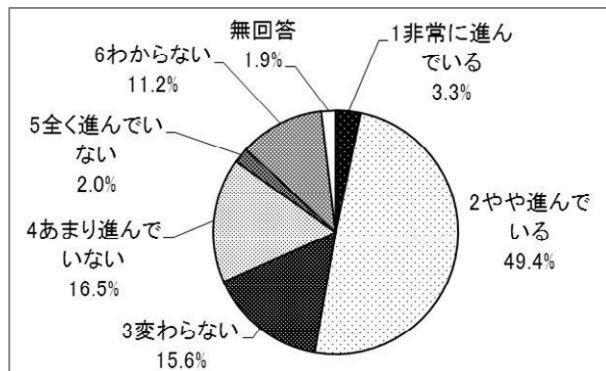


**問2**「札幌市自治基本条例」は平成 19（2007）年 4 月に施行して、平成 23 年度で 5 年目になります。この間、「自分たちのまちのことは自分たちで考え、決め、行動する」という市民自治によるまちづくりを具現化するため、地域の安全・安心に関する取組をはじめ、子育て、環境美化、高齢者福祉など、さまざまな分野で、市民と行政が協力してまちづくりを進めています。あなたは、このようなまちづくりが、どの程度進んでいると感じていますか。あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

「1 非常に進んでいる」「2 やや進んでいる」という回答が約 5 割強という結果であったが、一方で、「4 あまり進んでいない」「5 まったく進んでいない」「6 わからない」という回答も約 3 割あるのが現状。

年代別の統計では、20 代から 30 代に上がって、急に「2 やや進んでいる」が増えており、子育て支援などでまちづくり活動を実感する機会が影響していると考えられる。

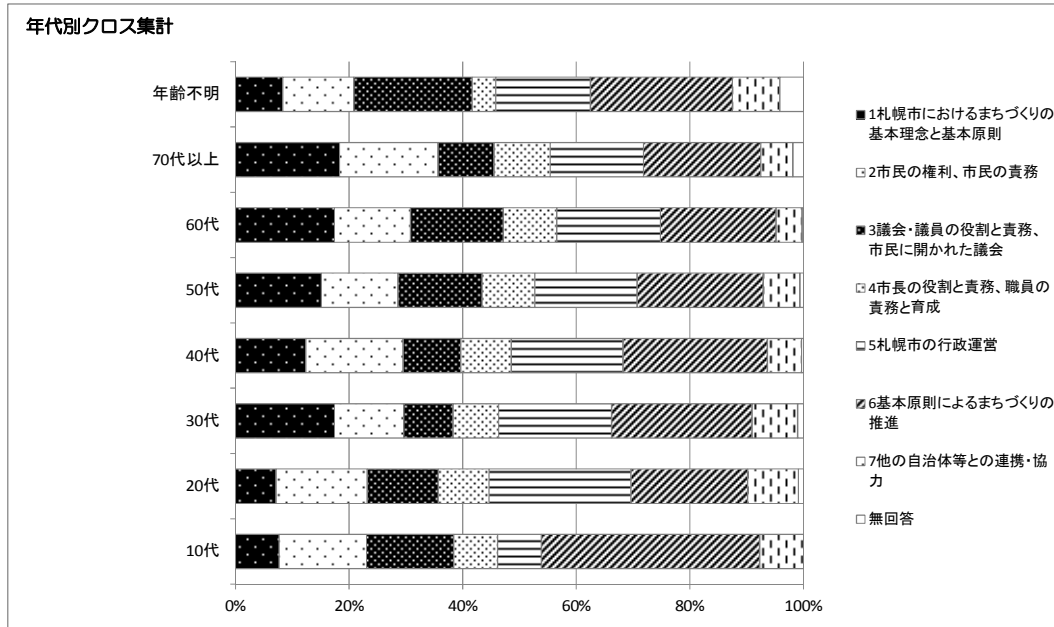
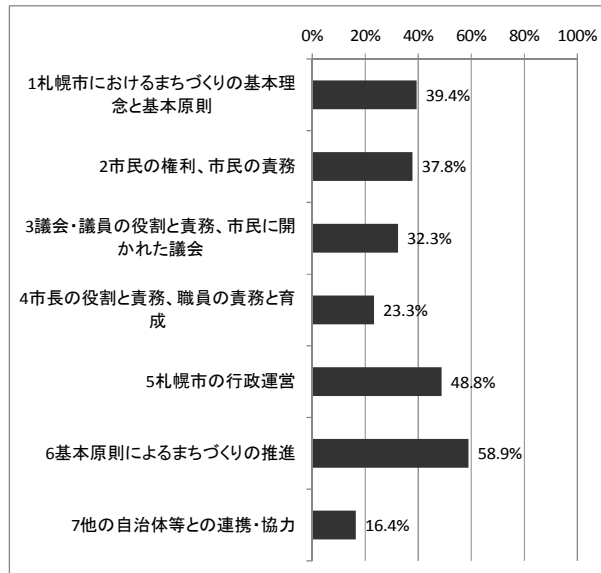
	人数
1非常に進んでいる	21
2やや進んでいる	314
3変わらない	99
4あまり進んでいない	105
5全く進んでいない	13
6わからない	71
無回答	12
合計	635



**問3**「札幌市自治基本条例」には、次のような項目があります。あなたは、どの項目に関心がありますか。あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

「6 基本原則によるまちづくりの推進」が58.9%と最も多く、次いで「5 札幌市の行政運営」が48.8%となっており、関心が高いことがうかがえる。

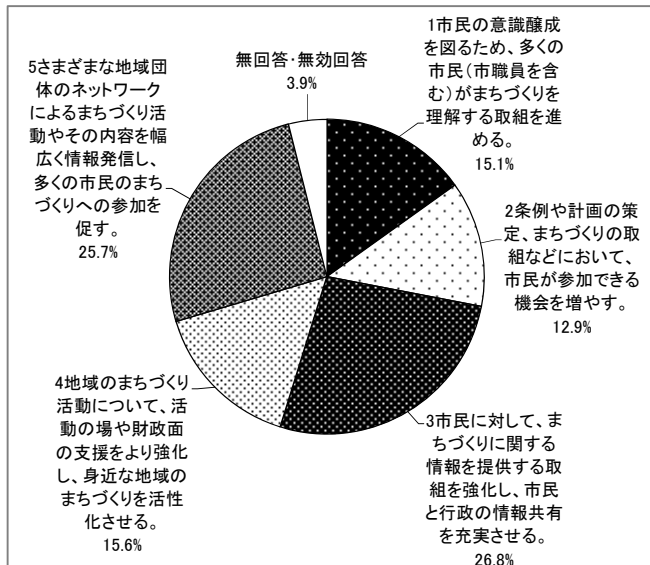
	回答数
1札幌市におけるまちづくりの基本理念と基本原則	250
2市民の権利、市民の責務	240
3議会・議員の役割と責務、市民に開かれた議会	205
4市長の役割と責務、職員の責務と育成	148
5札幌市の行政運営	310
6基本原則によるまちづくりの推進	374
7他の自治体等との連携・協力	104
無回答	13
回答者数	635



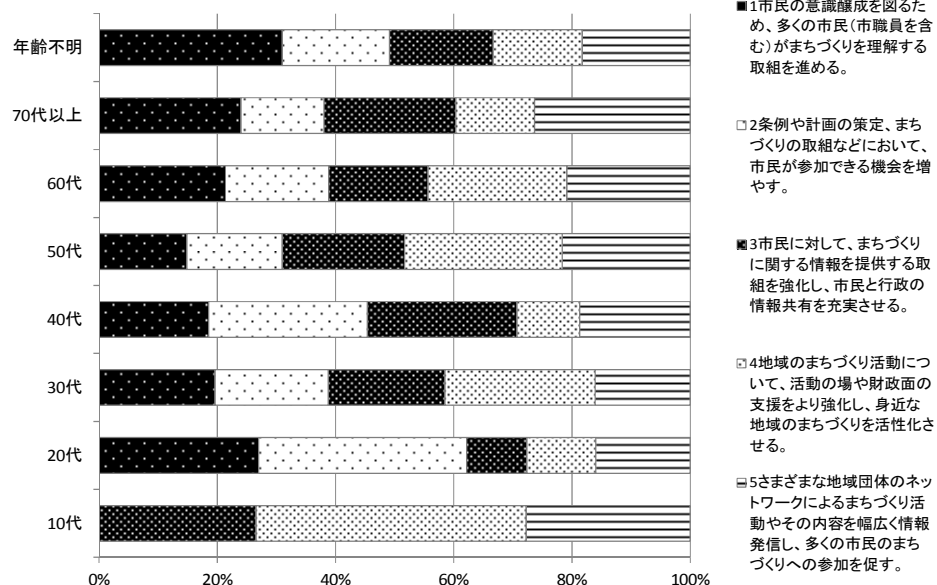
**問 4** 今後、市民自治によるまちづくりをより進めるためには、どのような取り組みの強化・内容の充実が必要だと思えますか。

「3 市民に対して、札幌市のまちづくりに関する情報」が 26.8%と最も多いが、無回答を除くと、12.9%~26.8%という結果となっており、比較的、すべての取組に対して興味を持たれていると考えられる。

	人数
1市民の意識醸成を図るため、多くの市民(市職員を含む)がまちづくりを理解する取組を進める。	96
2条例や計画の策定、まちづくりの取組などにおいて、市民が参加できる機会を増やす。	82
3市民に対して、まちづくりに関する情報を提供する取組を強化し、市民と行政の情報共有を充実させる。	170
4地域のまちづくり活動について、活動の場や財政面の支援をより強化し、身近な地域のまちづくりを活性化させる。	99
5さまざまな地域団体のネットワークによるまちづくり活動やその内容を幅広く情報発信し、多くの市民のまちづくりへの参加を促す。	163
無回答・無効回答	25
合計	635



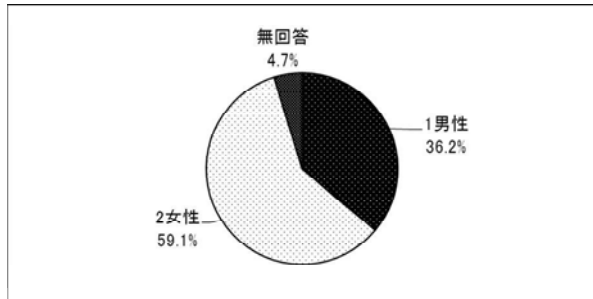
年代別クロス集計



アンケート回答者の属性は次のとおり。

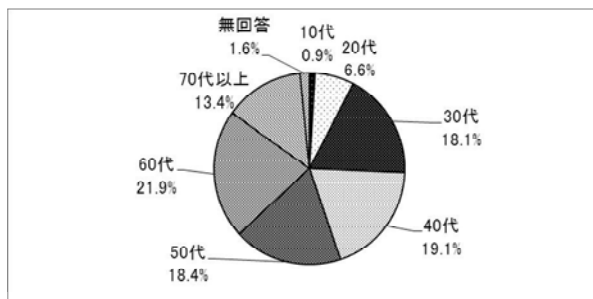
性別

	人数
1男性	230
2女性	375
無回答	30
合計	635



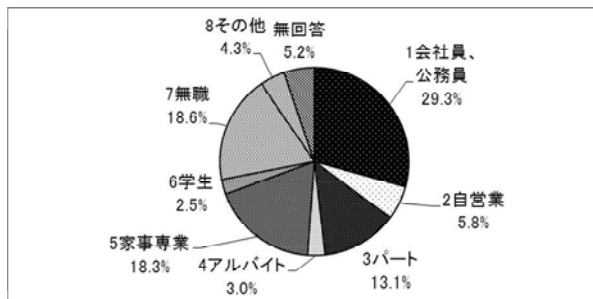
年代

	人数
10代	6
20代	42
30代	115
40代	121
50代	117
60代	139
70代以上	85
無回答	10
合計	635



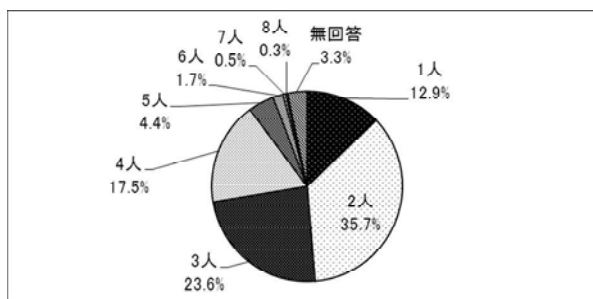
職業

	人数
1会社員、公務員	186
2自営業	37
3パート	83
4アルバイト	19
5家事専業	116
6学生	16
7無職	118
8その他	27
無回答	33
合計	635



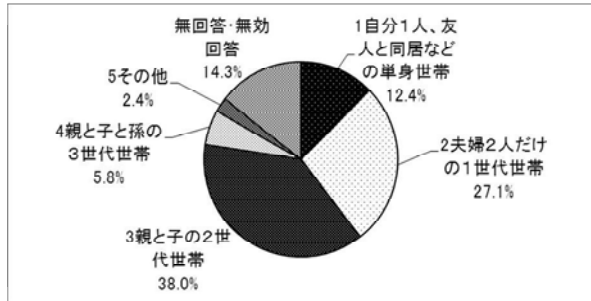
家族構成（世帯人数）

	人数
1人	82
2人	227
3人	150
4人	111
5人	28
6人	11
7人	3
8人	2
無回答	21
合計	635



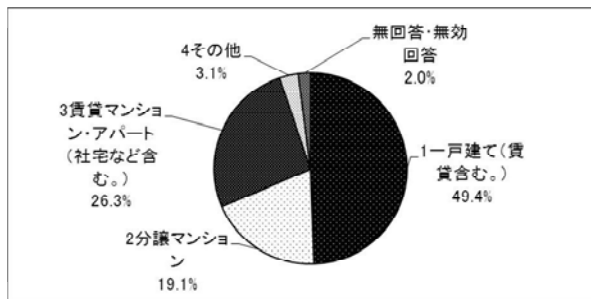
## 家族構成

	人数
1自分1人、友人と同居などの単身世帯	79
2夫婦2人だけの1世代世帯	172
3親と子の2世代世帯	241
4親と子と孫の3世代世帯	37
5その他	15
無回答・無効回答	91
合計	635



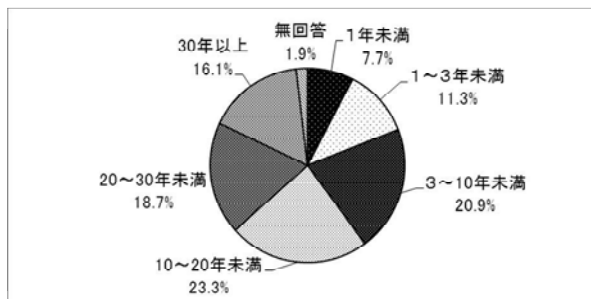
## 住居形態

	人数
1一戸建て(賃貸含む。)	314
2分譲マンション	121
3賃貸マンション・アパート(社宅など含む。)	167
4その他	20
無回答・無効回答	13
合計	635



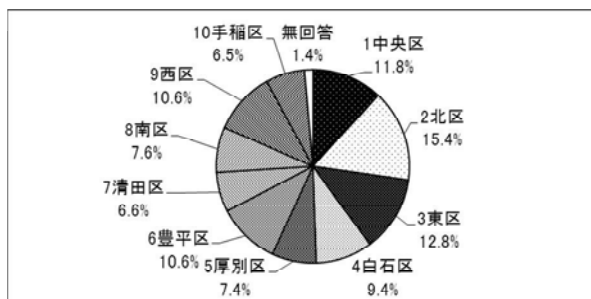
## 居住年数(現在地の居住年数)

	人数
1年未満	49
1～3年未満	72
3～10年未満	133
10～20年未満	148
20～30年未満	119
30年以上	102
無回答	12
合計	635



## 居住地

	人数
1中央区	75
2北区	98
3東区	81
4白石区	60
5厚別区	47
6豊平区	67
7清田区	42
8南区	48
9西区	67
10手稲区	41
無回答	9
合計	635









市民自治によるまちづくりに関する施策等の評価について〈最終報告書〉  
編集・発行 市民自治推進会議 ・ 2012（平成 24）年 3 月発行

（お問い合わせ先）

事務局：札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民自治推進課  
〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目  
電話 011-211-2253 F A X 011-218-5156